

○「山鳥坂ダム見送り」との記事に係る見解について

一部新聞報道で「山鳥坂ダム見送り」との記事が掲載されましたが、国土交通本省からは、『概算要求においては、検証に関する流動的な要素が存在する状況であることを踏まえ、あくまで仮置きではあるが、「検証対象としたダム事業については、引き続き、新たな段階に入らない」との方針を基本として予算を要求することとしている』と聞いており、「要求が見送られた」という事実はありません。

(参考) 国土交通省河川局「平成23年度河川局関係予算概要要求概要」より抜粋

3-5 ダム建設（国費：約1,399億円）

- 「できるだけダムにたよらない治水」へ政策転換するとの考え方に基づき、事業実施中のダム事業を「検証の対象とするもの^{*}」と「事業を継続して進めるもの」とに区分した上で、検証の対象となるダム事業について、本年9月を目途に中間とりまとめとして示される予定の新たな基準に沿って、個別ダムの検証を行うこととしている。（※「要請」するものも含む）
- これに基づき、ダム建設事業の平成23年度予算案においては、具体的に、以下のように措置。

- ・ 検証の対象とせず、継続的に事業を進めることとしたダム事業については、計画的に事業を進捗させる。
- ・ 検証対象としたダム事業については、引き続き、「新たな段階に入らない」との方針を基本としつつ、個別ダムの検証結果を踏まえ適切に対応する。

【平成23年度概算要求】

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ・検証対象外ダム：43事業（49施設） | ・検証対象ダム：83事業（84施設） |
| ・直轄事業：15事業（16施設） | ・直轄事業：25事業（26施設） |
| ・水資源機構：2事業（2施設） | ・水資源機構：5事業（5施設） |
| ・補助事業：26事業（31施設） | ・補助事業：53事業（53施設） |